

IWC とソラリス・ヨット 「ダブル・ムーン」と共に出航

2020年7月15日、スイス、シャフハウゼン - IWC シャフハウゼンとパートナーであるソラリス・ヨットは、特別にカスタマイズされた航海ヨットの制作に共同で取り組みました。このイタリアのヨット製造会社による55フィートのソラリス55は、新ポルトギーゼ・ウォッチコレクションの精神と視覚的コードを完璧なまでに反映してデザインされたものです。このヨットの名称「ダブル・ムーン」はIWCの伝説的な定番であるパーペチュアル・カレンダーのムーンフェイズ表示が由来となっています。

IWC ポルトギーゼの歴史は、船旅、航海、航行術と密接に関係しています。1930年代の終わりにシャフハウゼンの時計職人たちは、マリン・クロノメーターに匹敵する高精度の腕時計として最初のポルトギーゼを開発しました。そのクリーンで機能的な文字盤は、航行に用いられた航海用精密機器、当時の観測用デッキウォッチからインスピレーションを得たものでした。IWCはポルトギーゼの航海仕様のレガシーを現在へとつなぎ、魅力的な新モデルの幅広いラインアップを展開しています。その全てはIWCで製造されたキャリバーに適合するもので、現代のヨットの世界にインスパイアされた時代を超越したモダンなデザインを取り入れています。

ポルトギーゼの世界を未だかつてない形で具現化するために、IWCとソラリス・ヨットのデザイナーは特注の航海ヨットの制作に共同で取り組みました。その最初となるのが全長55フィートでレース、クルーズ用のソラリス55で、少ない乗員でのパフォーマンスセーリングに適しているのみならず、長距離巡航も非常に快適に行えるも

のです。クリエイティブな専門家たちが、綿密にIWCポルトギーゼの新コレクションの様々なデザインコードをヨットに取り入れ、同時に本ブランドの新広告キャンペーンのビジュアルや雰囲気完璧に表現しているかどうかの確認を行いました。ヨットの名称「ダブル・ムーン」は、IWCの伝説的なパーペチュアル・カレンダー特有のムーンフェイズ表示を想起させるものです。これは2003年にポルトギーゼ・パーペチュアル・カレンダー（5201参照）で最初に発表されたもので、北半球、南半球の両方から見える月の相を正確に表しています。

IWC シャフハウゼンのクリエイティブ・ディレクターであるクリスチャン・クヌープは語ります。「ソラリス55は流線型のフォルム、スポーティーな外観、高品質な装備が備わった、エレガントでモダンなセーリングヨットであり、ポルトギーゼの航海の世界と完璧に調和するものです。長年セーリングを楽しんできた者として、我々の最も象徴的な時計のファミリーが遂に出航できることをとりわけ喜ばしく思います。」

新ポルトギーゼ・コレクションからの
スタイリッシュな要素

「ダブル・ムーン」の船体、マスト、ブーム、デッキの表面のほとんどは紺と白です。船内のメインのバルクヘッド、階段、窓エリアのバルクヘッドは黒に塗られています。舵と階段の手すりは編み込まれた青のレザーで覆われています。これはプティック・エディションのストラップに使われた珍しい子牛のレザーに着想を得たものです。磨き上げられたクロムの綱止め、ウィンチ、その他の装備は高貴な印象で、ポルトギーゼの時計の洗練されたメタルケースとリンクしています。イギリス人ファッションブランドデザイナーのオルレバー・ブラウンはIWCのパートナーと同様、船室のシートクッションやタオルなどをカラーコーディネートされたテキスタイルで設えました。一等船室のテーブルは、大きなガラス張りの時計のディスプレイボックスになっています。デッキ下の航海エリアではIWCポルトギーゼ様式の掛時計と、豪華な仕上げの掛時計、気圧計、湿度計、温度計の4つの計器から成る気象観測装置が一際目立ちます。これらの計器は今年初めにパートナーシップを発表した時点でソラリス・ヨットの付属品として提供されることが決まりました。

「様々な点で特別なプロジェクトでした。我々は皆この結果を誇らしく思っています。このヨットはソラリス・ヨットとIWCにおいて脈々と続いてきた職人の技とデザインへの情熱を特別かつ具体的なやり方でまとめ上げたものです。」ソラリス・ヨットの共同オーナーであるパオロ・ブオンビッチーニは説明します。

ソラリス・ヨット -
1974年創業の卓越したヨット製造社

1970年代にベネチアラグーンの沿岸、アクイレイアで創業しました。この地ではまずローマ人、続いてベネチア共和国が貴重な航海遺産を遺し、ソラリスの製造社であるソラリス・ヨットに引き継がれました。6,000平方メートルの非公開区を含む26,000平方メートルのエリアで「カスタムメイド」のヨットを製造するほか、最大のもものは100フィート大に達するヨットの修理、保管を行っています。

40年にわたる船舶製造、修理の経験と独自のノウハウを生かし、ソラリスの技術部門と熟練労働者は、技術力そして他に類を見ない伝統的な木材インテリアの製造力を統合して、一流のセーリングヨットを設計、製造しています。2018年にソラリス・ヨットは新たな時代を迎えました。これまでのアクイレイアの本拠地が新しいソラリス・ヨットの製造に適した基準で拡張される運びとなったのです。全社の物流の拡張と改革に伴い、効率性がさらに改善されたことによって製造プロセスに好影響が出ています。現代的かつ機能的になった労働環境により、今では製造中の船舶のケアを詳細に至るまで行うことが可能となりました。

IWC シャフハウゼン

1868年、米国の時計技師であり、起業家でもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズはボストンからスイスへ渡り、シャフハウゼンに「インターナショナル・ウォッチ・カンパニー」を設立しました。彼が描いた夢は、先進的なアメリカの製造方法とスイスの時計技師たちが持つ優れた職人技を組み合わせ、その時代の最高の懐中時計を作ることでした。そして彼はIWCの独創的なエンジニアリング手法の基礎を築き上げ、スイスの地で機械式時計の集中生産を確立しました。

IWC シャフハウゼンは150年にわたる歴史の中で、正確かつ頑丈で、顧客にとって使いやすいクロノグラフやカレンダーなどの機能を組み合わせた時計を生み出すことで高い名声を得てきました。またIWCは、チタンやセラミックなどの素材の先駆者であり、チタンアルミやセラタニウム®などの先進的な素材を用いたテクニカルウォッチケースの製造もおこなっています。華やかな装飾よりも「形態は機能に従う」という原則を優先するスイス時計メーカーとして、時代を超越した製品への思いは、まさに人生を旅するオーナーたちの夢と志を体現しています。

IWCは、責任を持って素材を調達し、環境への影響を最小限に抑える措置を講じながら、何世代にもわたり受け継がれる持続可能な時計を生み出しています。また、すべての従業員に快適な職場環境を提供し、誇りをもって未来を担う時計職人とエンジニアたちへのトレーニングを実施しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

ソラリス 55 「ダブル・ムーン」の画像は、press.iwc.comからダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWC シャフハウゼン

広報部門

Eメール press-iwc@iwc.com

ホームページ press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

ホームページ iwc.com

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

Twitter twitter.com/iwc

LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen

Instagram instagram.com/iwcwatches

Pinterest pinterest.com/iwcwatches